

課題対応取組報告書

名称	さきしま地域包括支援センター						
提出日	令和	7	年	6	月	24	日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☒ 地域や専門職とのつながり等 ☐ 認知症高齢者等の支援 ☐ その他 ()	☐ 社会資源の創設 (居場所づくり等) ☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	権利擁護に関する情報発信、研修を行う	
地域ケア会議から 見えてきた課題	高齢者の住民が周囲と孤立しやすく、住みづらい環境となっていることが課題となった。地域交流がなく関係が希薄になり、困りごとがあっても相談できる相手がいない等の問題が起こり、虐待や消費者被害に遭いやすく、権利を侵害されるリスクが高くなってしまうことが考えられる。	
対象	地域住民、地域の専門職	
地域特性	周囲を海に囲まれた人工島であり、住宅は全て集合住宅で地域外との交流に消極的な雰囲気がある。そのため、古参と新参間の関係構築が難しく、高齢者個人だけでは解決が困難な問題を抱えている地域でもある。また、南港北地域は、新しいマンション群で他の4地域よりも若い世代や企業が多く高齢者を含めたコミュニティが作りにくい。	
活動目標	地域住民、専門職を対象に権利擁護に関する情報を知ってもらい、意識の向上を目指して情報の発信や研修を行う。	
活動内容 (具体的取組)	①地域住民向けに司法書士による法律相談会を継続して開催する。 ②アンケートから分析を行い、専門職向けに高齢者虐待防止研修会を企画、開催する。 ③地域住民向けに終活講演会を企画、開催する。 ④消費者センター等、関係機関と連携し、被害防止の周知や講座を企画、取り組んでいく。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	①奇数月第3火曜日に定期開催。毎回3組の枠で6回開催の内4回満員。 ②10/21区内4包括合同企画での虐待防止研修会開催『高齢者虐待防止を通して権利を考える』参加者46名。 ③④1/16地域住民向けに終活講演会を開催『おひとりさま、おふたりさまのための終活セミナー』参加者13名。	
今後の課題	・司法書士無料相談会は開催場所が変更のため周知が必要。 ・終活講演会は毎回参加、利用率が高かったが、今年度は掲示板が使えなかったことで周知不足により参加者が少なかった。しかし、地域住民の要望が多く定期的に開催する必要性が高いため、周知の工夫が必要である。 ・虐待防止研修会は参加者のアンケートに基づき次回の内容を検討し、今後もニーズに合わせて継続開催していく。参加の割合が少ない事業所専門職にどのように参加してもらうかが課題。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和7年7月24日(木)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☒ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☒ 専門性 ☒ 独自性	
評価できる項目(特性)についてのコメント *今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	・研修会に事業所の現場のスタッフが参加できる工夫が必要、管理者に責任を持ってほしい。 ・時間帯、開催方法の工夫は必要ではないか。	